

いやあ〜

最高最高(笑)

俺を見下してる
ババア校長に
ちんこしゃぶら
せるのは(笑)

いっつ…っ！♡

あ〜…
そろそろ
射精すぞ

いっつ…っ！

いっつ…っ！

いっつ…っ！

いっつ…っ！

いっつ…っ！



喉奥に直射精(笑)

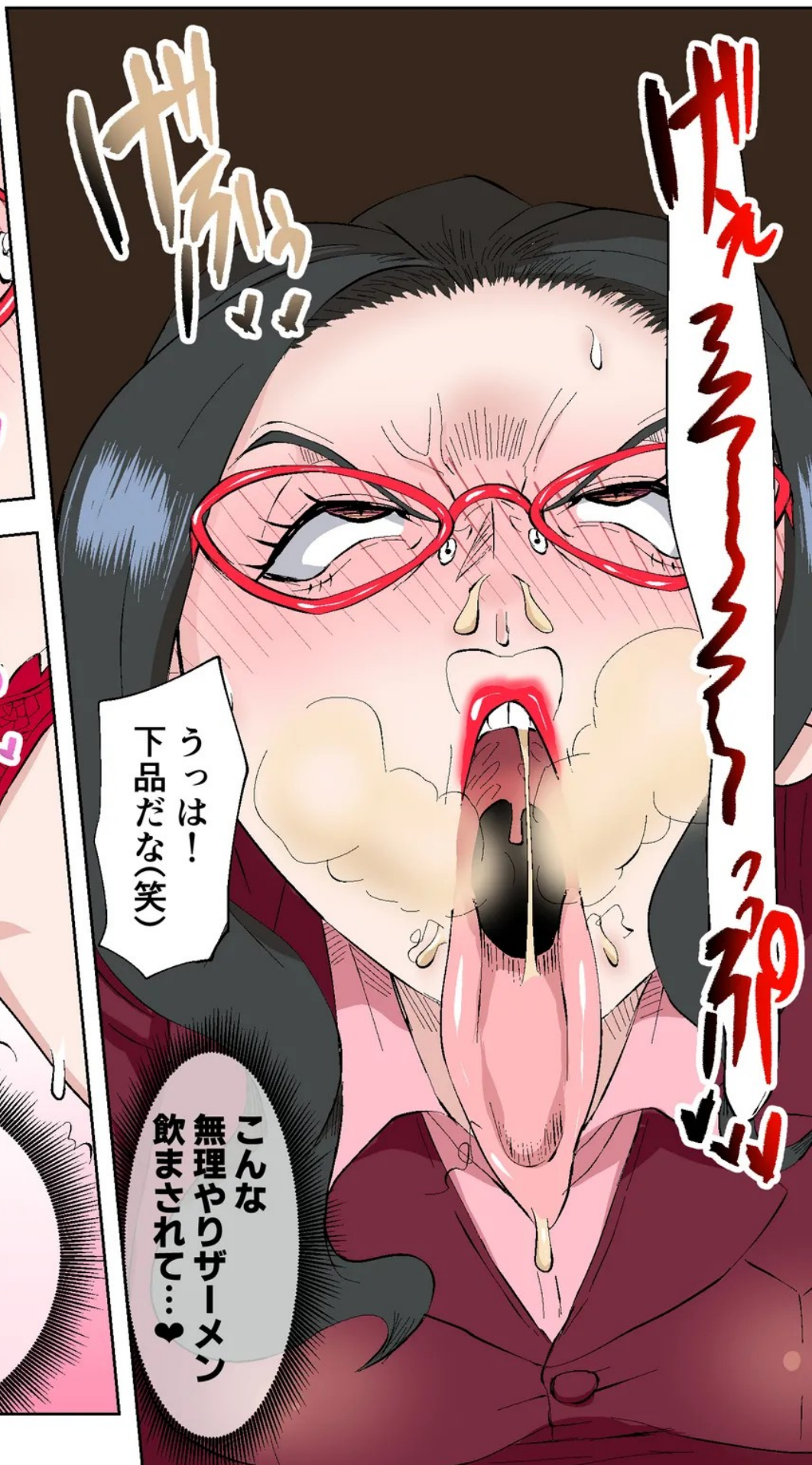
ほてりるっ!!



は... たまんねえ

遠慮ってのを知らないのかしら♥

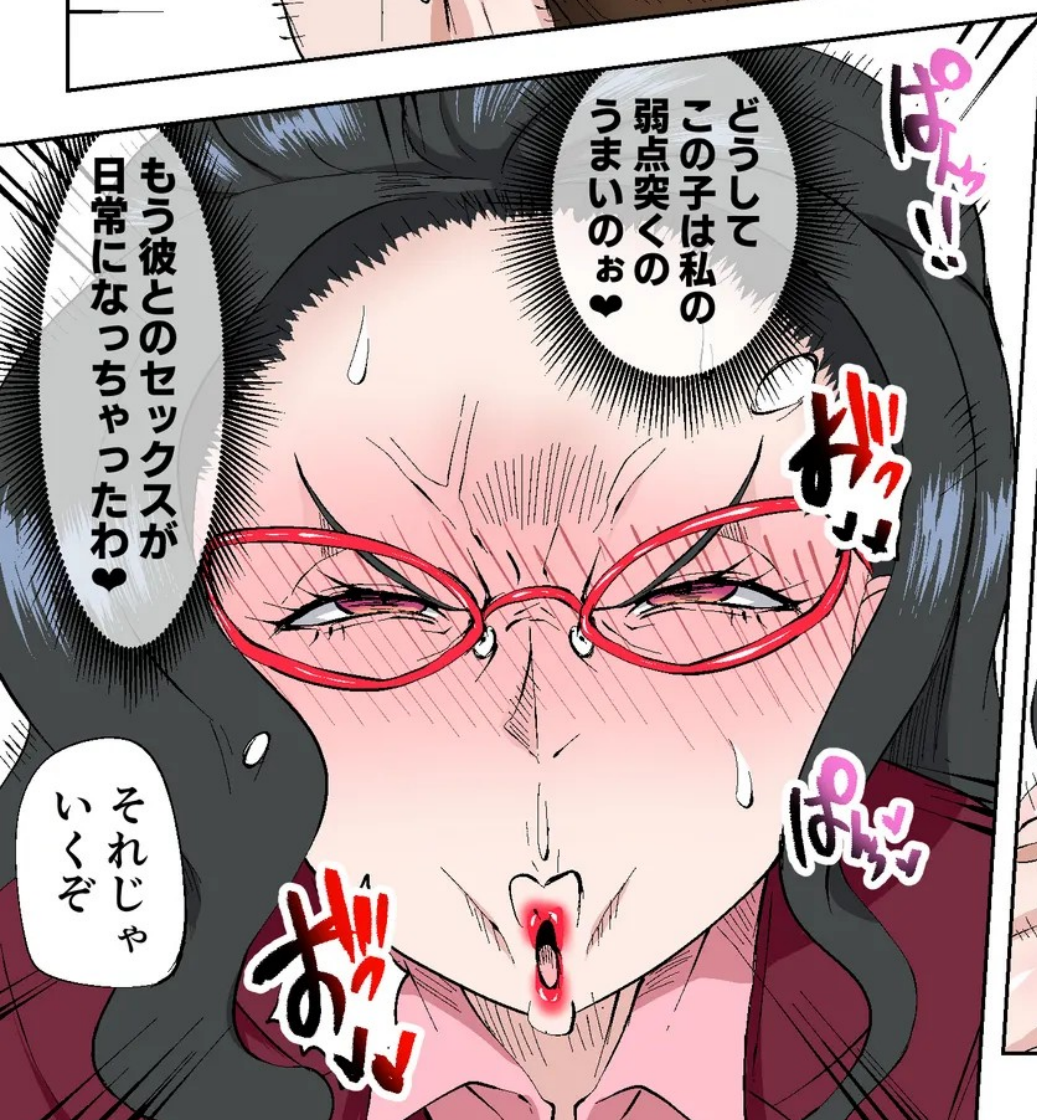
相変わらずなんて臭いと濃さと量なのよっ♥



うっは!
下品だな(笑)

こんな
無理やりザーメン
飲まされて...

身体が...
おまんこが...
彼のおちんぽ欲し
がっちゃんてる
のお~~~~♡♡





世の

若精子で

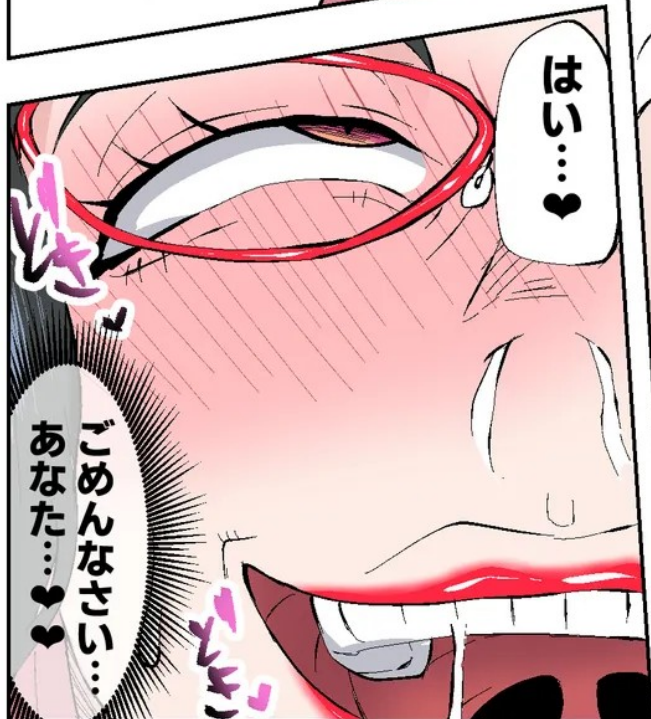
インチャの

ほわゆる!!!



無責任に人妻ババアに
射精するのたまんねえ(笑)

知ってるんだぜ？
お前の旦那前から
出張だろ？
週末はお前の家で
やりまくるぞ
…わかったな？



はい…♡

ごめんなさい…
あなた…♡♡



そういえば今日週末じゃん
今日ババアの家
連れてけよ(笑)



だ…ダメよ
主人が…♡

その後、妊娠しそれが発覚したため
懲戒免職処分を受け、同時に夫から離婚され
家を追い出されてしまった。

孤独になっていた最中、妊娠させた張本人と
再会し、彼の家に誘われた。

そこで提案されたのは

『便女になること』
人としての尊厳を、権利を全て彼に捧げること。

拒否しようと思った。
だが、もう頭も身体も彼のちんこを忘れられなかった。
教育されていたのだ。
頭と身体に快樂でしっかりと教育されてしまったのだ。
：理解した後は早かった。
頭を下げて彼に自分の意思でお願いをした。
『私を便女にしてください♥』

